

# 当センターは 下記の調査を実施しています

記

課題名 小児がん連携病院を対象とした小児がん医療の質を表す指標（Quality Indicator:QI）の作成と小児がん連携病院における適応に関する研究

## 調査の目的・意義

小児がん中央機関・拠点病院ネットワークによる本邦の小児がん診療レベルの向上を目指して、小児がん連携病院の質の評価を行うため、小児がん連携病院に向けた小児がん医療の質を表す指標（Quality Indicator:QI）の項目を個々の施設ごとに経年的に算定し、小児がん医療提供体制の質の評価を行います。

## 調査の方法

当院で診療された小児がん患者さんを抽出し、治療開始までの期間、輸血量、中心静脈カテーテル関連血流感染率など個人情報を含まない以下の項目について、データベースに入力し、小児がん病院の中央機関である国立成育医療研究センター（責任者：松本公一）に提供します。小児がん拠点病院では、小児がん診療に適合した医療の質を表す指標（Quality Indicator:QI）に関して集計を行い、小児がん中央機関に集計データを提出します。解析されたデータは小児がん拠点病院を通じて当院へ報告されます。

- 調査項目
- 中央病理診断提出率、化学療法関連死亡率、緩和ケアチーム介入率、院内学級への転籍率など

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

調査実施機関

国立成育医療研究センター

小児がん拠点病院および小児がん連携病院

国立成育医療研究センター（HPにて概要を掲載 <http://www.ncchd.go.jp/>）

※ ご質問、または、調査へのお問い合わせは、お手数ですが、下記の調査責任者へご連絡ください。

調査責任者： 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター  
血液・腫瘍科主任部長 井上 雅美  
電話：0725-56-1220